

# 社協 おうたき

第

84

号

令和7年8月1日発行  
社会福祉法人  
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201  
長野県木曾郡王滝村2830-1  
TEL 0264(48)2008  
FAX 0264(48)3033



夏休みボランティア



どんぐり広場



会食会



ごたくらぶ

(左上)小学生が絵手紙の手すき葉書づくりに挑戦！(R6.7)  
(左下)会食会の締めは、やっぱり「祝い歌」(R7.2)

(右上)プールで遊ぼう！夏休みのどんぐり広場 (R6.7)  
(右下)原木の葉きのこ、たくさん収穫できました。(R6.11)

令和6年度事業報告・・・2～4p

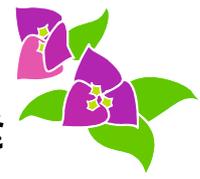
令和6年度収支決算・・・5～6p

評議員・役員の変更・・・7p

みんな、まめごやらまい！！

令和6年度も、子どもからお年寄りまで、男性も女性も・・・素敵な表情やたくさんの笑顔を見ることができました。いつもご協力いただき、ありがとうございます。

# 令和6年度おもな事業の報告



季節の味覚！朴葉寿司をお届け  
月に一度のお楽しみ弁当。つくり隊ボランティア38名の皆さんが真心こめてお作りします。

## ◇地域福祉活動 ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援  
登録ボランティア 16メニュー 116名 (成人18%)  
ボランティア講座 2回開催 参加者 22名  
※その他、ボランティア新年交流会、お楽しみ弁当勉強会などを実施。
2. 第35回福祉・健康の集い(社会福祉大会)  
『福祉・健康啓発月間』(R6.10月) 延402人
3. 福祉教育  
小中学生夏休みボランティア体験 3メニュー  
7月23日～8月2日 参加者 28名  
福祉講座  
7月12日 福祉体験学習(中3) 参加者 2名

## 地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会  
9月20日 野口地区サロン 参加者 9名  
出張介護教室、認知症講座、懇談会



はじめまして！  
どんぐり広場のお友だちとあいさつ。

源平玉入れ、力をあわせて  
4回目を迎えた『長寿カップ』  
競技大会。昨年は、社協、王寿  
会、公民館の共催で行いました。



## ◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用者数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	4組4名	18人 (Δ24人)
2 ミニ児童館	243日	18名	111人 (Δ82人)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	15名	127人 (Δ51人)
4 お楽しみ弁当	14回	48名	496人 (+1人)
5 ごたくらぶ	12回	7名	47人 (Δ14人)
6 会食会	1回	53名	- (Δ4名)
7 障がい者希望の旅	1回	7名	- (±0人)
8 障がい者交流会	1回	6名	- (Δ2名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 人 (- 人)

高齢化をポジティブに  
てこと。



郡ボランティア・地域活動フォーラム (R6.12)

## ◇生活資金貸付事業

1. 暮らし資金(独自事業)  
貸付件数/残高 1件 (150,000円)  
☆新規貸付 -件 ☆償還終了 -件
2. 生活福祉資金(県社協受託)  
貸付件数/残高 -件 (-円)  
☆新規貸付 -件 ☆償還終了 -件



### ☆高齢者のみなさんの活躍支援

昨年度は、「高齢者の活躍支援と、ともに支え合う元気な地域づくり」を重点目標の一つに掲げました。昨年の木曾ブロックボランティア・地域活動フォーラムでは、「みんなでワイワイ“お元気自慢”」をテーマに、郡内各地から、シニア層を中心にさまざまな地域づくりの活動に取り組む皆さんが大集合。互いに刺激を受け合い、今後の活動のエネルギーを充填しました。



## ◇介護保険(障害福祉)サービス

デイサービスで恒例の書初め  
今年も一年まめに書かせますように  
と、高齢のみなさんも慣れた手つき  
で筆を運びます。

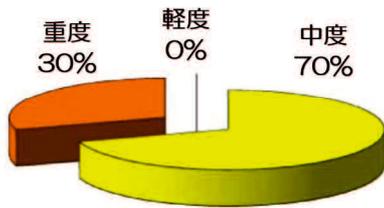


	営業日	利用者	延利用者数
1 居宅介護支援事業	243日	35名 ◎新規 7名	317人
2 通所介護(デイサービス)	256日	21名 ◎新規 6名	2,033人
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	17名 ◎新規 7名	2,187人
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 -名	14人
移動支援サービス		1名	3人

### <居宅介護支援事業>

#### 介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

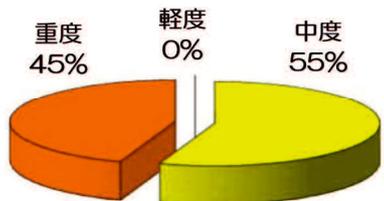
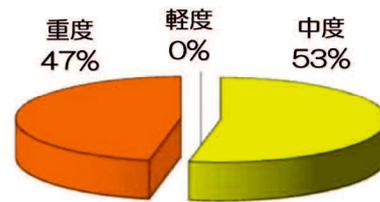
	6年度	5年度	増減
軽度	-件	-件	-件
中度	222件	191件	+31件
重度	95件	123件	△28件
合計	317件	314件	+3件



### <デイサービス>

#### 介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 7.9人(+0.7人)

	6年度	5年度	増減
軽度	-人	-人	-人
中度	1,079人	685人	+394人
重度	954人	1,161人	△207人
合計	2,033人	1,846人	+187人



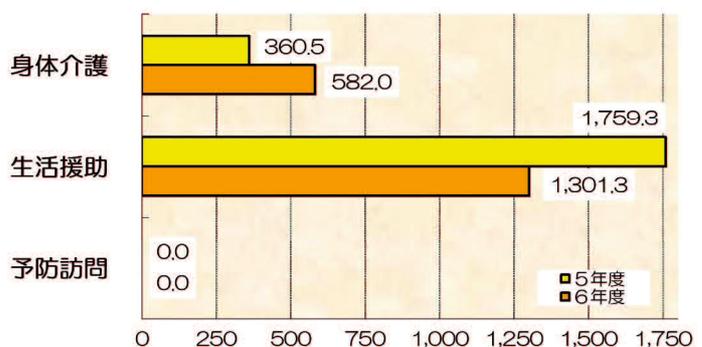
### <ホームヘルプサービス>

#### 介護状態別利用状況(延回数)

	6年度	5年度	増減
軽度	-回	-回	-回
中度	1,211回	942回	+269回
重度	976回	1,109回	△133回
合計	2,187回	2,051回	+136回

◎延訪問時間 1,883H(前年度比△237H)

※1回当たり訪問時間(平均) 52分(前年度比△16%)



### ☆介護サービス利用状況が回復

令和6年度の月平均利用者は、通所で+16人(+10%)、訪問で+11人(+7%)と令和4年度の水準近くまで回復。内容面では、全体に重度の利用者が減少。訪問介護では、利用回数増加に対し提供時間は月平均△19.7H(△11%)の減少となり、又、身体介護の利用時間が+60%と大幅に増加した一方、生活援助は減少しました。

### ◇事業実施状況 ~在宅サービスの継続~

介護保険制度改正等により全国的に小規模事業所の事業経営が影響を受ける中、在宅サービスの事業継続のための努力が認められる。引き続き、住民ニーズに沿った福祉サービスが継続されるよう取り組みに努められたい。

### <障がい者ホームヘルプ>

※移動支援サービス含む

	6年度	5年度	増減
◎延訪問回数	17回	60回	△43回
◎延訪問時間	19.5H	97.5H	△78.0H



## ◇介護予防・生活支援事業

### ☆生活支援サービスの利用者が減少

配食サービスでは、実利用者は29名と4名増加した一方、月平均の利用食数は△74食（△19%）減少しました。又、外出支援サービスでは、利用回数が△21%減少し、特に郡内移送が月平均△11回（△47%）と大幅に減少。生活支援サービスの利用変動は、主に、利用頻度の高い独居および重度の介護サービス利用者の増減と連動しており、近年では急激な利用者数の増減を繰り返すことが多くなっています。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用者数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	6名	48人 (△4人)
2 配食サービス	486回	29名	3,879人 (△888人)
3 生活支援訪問サービス	113日	18名	164人 (△34人)
① 介護予防ホームヘルプ	-	0名	0人 (△55人)
② 生活支援ホームヘルプ	-	18名	164人 (+21人)
4 介護教室	5回	38名	56人 (△14人)
5 介護者リフレッシュ	4回	11名	23人 (△4人)
6 外出支援サービス	158日	40名	489人 (△132人)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	20名	50人 (△4人)
8 心配ごと相談所	15回	-	12人 (+6人)



地域で支え合おう！  
10月の支え合い研修会では災害時に大切なひとを守るために、避難所運営ゲームを体験し学び合いました。

8月のつくり隊勉強会では、高知県高知市高村の皆さんとオンラインで結び、トマトを介した「まるごと家族」の地域づくりについて学習しました。



実りの秋の健康弁当  
支え合い推進委員の皆さんが『食』をテーマに健康弁当を考案。ひとり暮らしの皆さんに試食していただきました。



### R6生活支援ネットワーク事業

- 生活支援ネットワーク会議（運営委員14名）  
6月21日・・・令和6年度推進計画他
- 地域支え合い推進会議（推進委員25名）  
第1回 6月21日・・・令和6年度推進目標他  
☆専門委員会 3回開催  
① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり & 健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援
- 生活支援コーディネーター 1名(兼任)
- 体制整備に関する諸事業
  - 地域支え合い研修&支援者養成講習  
『とまと村の大人の部活動とまるごと家族プラットフォーム(高知県日高村)』8月16日 参加者10名  
『大切な人や地域を守るために～楽しく学ぼう！防災知識』10月23日 参加者13名  
☆支援者養成講座 7月19日 参加者12名  
環境&エコボランティア
  - ボランティア活動支援&支援活動の需給調整  
社協「地域支え合い会員」登録者116名
  - ニーズ調査活動  
生活支援ニーズの聞き取り調査等
  - 広報紙による情報周知
  - その他の事業企画
    - ・遊休農地を活用した野菜づくり（参加者 延33人）
    - ・自主サロン活動支援 4団体 計15回（参加者 延126人）※共同募金公募補助金活用 4団体
    - ・『食』から考える健康づくり～「実りの秋の健康弁当」&交流会他 10月17日 参加者17名
    - ・地域間協働による支え合い活動の課題検討(1回)

### R6認知症安心ネットワーク事業

- 認知症地域支援推進員 1名(兼任)
- 相談支援体制の整備
  - 介護・認知症相談(年2回)
  - 認知症に関する情報提供&認知症講座(年2回)
  - 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)
- 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり
- 介護職員の資質向上、在宅介護相談の充実

### ◇生活支援ハウス運営事業

入居者3世帯3名（365日 24時間営業）  
☆新規入居 - 世帯(-名) ☆退所 1世帯(1名)



# 令和6年度一般会計決算

## “事業収入増で運営補填額が減額”

歳入合計 82,841,216円  
 歳出合計 82,460,143円  
 差引残高 381,073円

令和6年度の歳出決算額は、前年度比十六万九千三百円（+19%）の増額決算となりました。退職給付に伴う支出の増額を要因としたもので、実質的な決算総額は、前年度比△1%の微減決算となっています。

歳入面では、介護保険事業収入が利用状況の回復により、前年度比十一万八千円（+6%）と増加し、当期活動の収支差額は、赤字決算であるものの、前年度比十二万六千円の改善となりました。

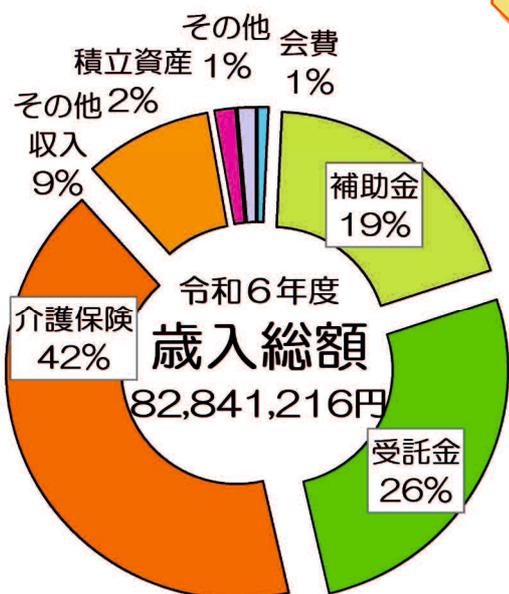
また、歳出面では、人件費が大幅に増加していますが、退職給付を除くと、正規職員が前年度比△5%の減額となった一方、パート職員については、手当等による処遇改善により、前年度比十二万六千円（+19%）の増額となりました。事業費では、車輛費の減額等により、介護予防等事業で大幅に減額しました。

財政面では、事業収入の改善と経費節減により、運営補填のための積立資産取崩額は、当初取崩予算額より大幅に減額しましたが、固定資産更新のための積立資産を目的外に取崩し、運営費の補填に充当しました。



### 歳入

(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	614,000	652,000	△38,000
2 寄附金	197,113	1,007,300	△810,187
3 補助金	15,927,428	15,785,312	142,116
4 受託金	21,873,459	21,626,979	246,480
5 貸付事業収入	60,000	80,000	△20,000
6 事業収入	366,200	452,400	△86,200
7 介護保険事業収入	34,736,245	32,752,042	1,984,203
8 その他収入	7,406,930	29,000	7,377,930
9 基金・積立金取崩	1,197,257	2,835,279	△1,638,022
10 前期繰越金	240,605	244,259	△3,654
11 その他	221,979	382,686	△160,707
合計	82,841,216	75,847,257	6,993,959

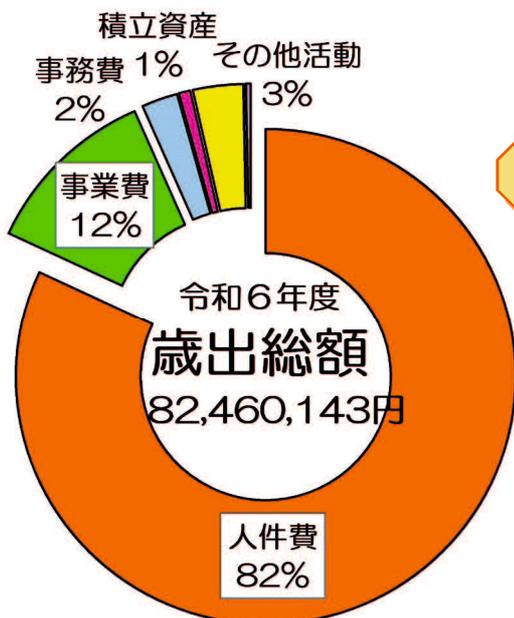
※「補助金」は共同募金配分金収入(419,428円)、及び相談支援体制強化事業補助金(1,400,000円)他を含む。

※「その他収入」は退職給付に係る引当資産差益を含む。

※「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

### 歳出

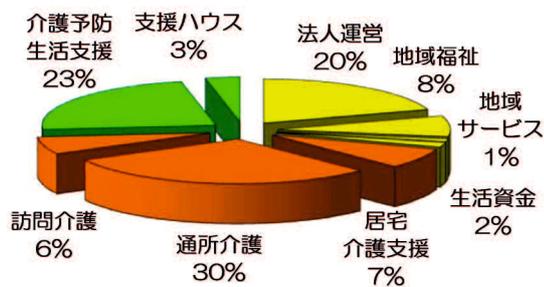
(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	67,580,375	59,279,327	8,301,048
2 事業費	9,430,690	10,015,873	△585,183
3 事務費	1,914,663	1,963,899	△49,236
4 その他の活動支出	2,683,423	3,124,746	△441,323
5 基金・積立金積立	790,992	1,082,807	△291,815
6 その他	60,000	60,000	±0
合計	82,460,143	75,526,652	6,933,491

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。

## 事業別歳出決算額の内訳 (単位：円)



= 各サービス区分のおもな事業 =

### ◇地域福祉推進事業 \* 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援  
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会  
⑥福祉活動の促進・支援等

### ◇地域福祉サービス \* 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室  
④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ ⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等  
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等  
計228,100円 (対事業費 32%)

### ◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス  
④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業 ⑥外出支援サービス  
⑦心配ごと相談所  
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等  
計1,473,200円 (対事業費 52%)

### ⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業

※「\*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計6事業)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
<b>1 法人・地域福祉活動</b>	24,932,682	17,900,152	7,032,530
1 法人運営事業	16,462,397	9,701,618	6,760,779
2 地域福祉推進事業	6,192,932	5,894,862	298,070
3 地域福祉サービス	842,128	870,660	△28,532
4 生活資金貸付事業	1,435,225	1,433,012	2,213
<b>2 介護保険サービス</b>	35,675,102	35,948,121	△273,019
1 居宅介護支援事業	6,027,241	5,921,859	105,382
2 通所介護事業	24,450,343	22,624,518	1,825,825
3 訪問介護事業	5,197,518	7,401,744	△2,204,226
<b>3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)</b>	21,852,359	21,678,379	173,980
1 介護予防・生活支援事業	19,226,059	19,002,379	223,680
2 生活支援ハウス運営事業	2,626,300	2,676,000	△49,700
<b>合計</b>	82,460,143	75,526,652	6,933,491

※ 法人運営事業は、基金組入額(196,063円)を含む。退職給付に係る引当資産差益分(7,401,800円)を含む。※ 生活資金貸付事業は、相談支援体制強化事業に係る事業費を含む。

## 介護保険事業の収支 (単

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	6,027,241	24,450,343	4,602,814	35,080,398
介護保険事業収入 b	4,336,710	22,785,870	7,705,265	34,827,845
その他の収入 c	-	-	-	-
差引過不足額 (b+c)-a	△1,690,531	△1,664,473	3,102,451	△252,553
(他事業繰出/繰入金)	△1,690,531	△817,216	2,507,747	±0
(固定資産積立金)	0	△847,257	594,704	△252,553
(次年度繰越金)	0	0	0	0



※「介護保険事業収入」は、障害福祉サービス収入を含む。内、利用者の皆さまの利用料 計4,946,491円 (対事業費198%)

## R6 基金・積立金の状況 R7.3.31現在 (単位：円)

基金・積立金	積立額	取崩額	残高	備考
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	77,739,000	◎果実運用 (社会福祉事業へ)
	196,063	0	12,365,593	◎果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
	0	0	0	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
福祉基金 ※寄附金等財源	0	0	594,704	車輛運搬具減価償却積立金 (1台)
	0	0	△847,257	運営補填取崩額 (2事業充当)
	0	0	9,161,557	◎消耗資産の更新準備金 (4/8件)
法人安定化積立金	0	0	225	預金利息積立額
	0	0	1,500,117	◎生活資金貸付事業原資
	0	0	0	
固定資産積立金	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
暮らし資金積立金	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	

※ 令和6年度は、事業財源不足による運営補填のために固定資産積立金より(目的外取崩)、法人運営事業及び介護保険事業(1事業)へ1,197,257円を取崩し充当しました。(当初取崩予算額 6,330千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。

# 評議員&役員が改選

**評議員** 定数7～10名 (任期：令和7年6月定時評議員会～令和11年6月定時評議員会)

- 長谷川 昭 (新任) ～地域福祉関係/福祉団体 (王寿会)
- 三浦 征弘 (新任) ～ // /福祉団体 (遺族会)
- 小谷 洋子 ～ // /福祉団体 (更生保護女性会)
- 木島 栄次 (新任) ～ // /民生児童委員会協議会
- 細尾美智代 ～ // /ボランティア団体 (食の会)
- 吉田 英司 ～関係機関/教育機関 (教育委員会)
- 北原 健吉 (新任) ～ // /教育機関 (小学校)
- 胡桃澤公司 (新任) ～関連団体 (商工会王滝支部)

**理事** 定数6名 (任期：令和7年6月定時評議員会～令和9年6月定時評議員会)

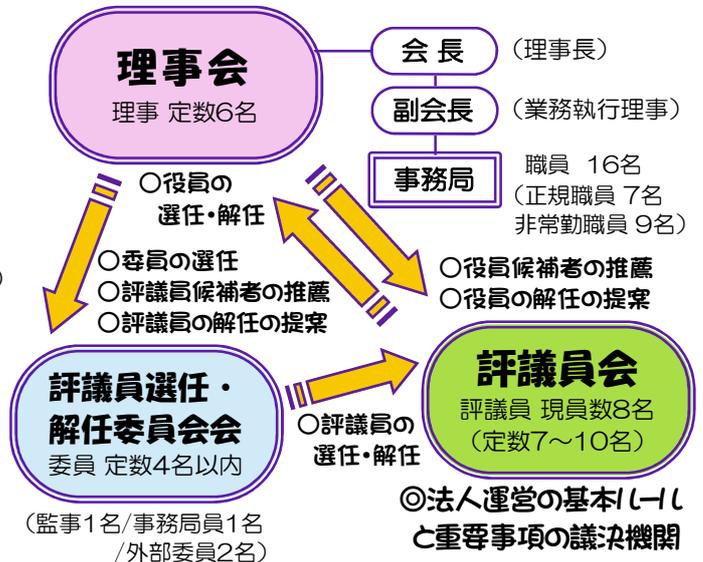
- 会長 (理事長) 滝 和人 ～その他機関 (保護司)
- 副会長 (業務執行理事) 森 敏 ～地域福祉関係 (人権擁護委員)
- 理事 下出 謙介 ～地方行政 (村議会議長)
- 理事 大家八代美 ～地域福祉関係 (ボラ・地域活動)
- 理事 越 敏章 ～会社運営等経験
- 理事 村木 賢次 ～福祉行政 (村福祉健康課長)

◎理事は構成分野を考慮の上、事業経営に関する識見や福祉に関する実情に通じている方を個人として選任。(役職は参考)

**監事** 栗空 敏之 ～財務管理識見  
栗空 里美 ～社会福祉事業識見  
定数2名

任期満了に伴い、6月6日の評議員選任委員会で評議員8名が選任。また、6月18日の定時評議員会で役員(理事・監事)の改選が行われ、新理事会において業務執行体制が決定されました。

## ◎業務執行の ≪社会福祉協議会の経営組織≫ 意思決定機関



**顧問** 越原 道廣 (王滝村長)

## ～令和6年度監査意見よい③～

### ◇決算の状況 ～積立資産の担保～

介護保険事業収入の回復により積立資産の運営補填取崩額が減少し、単年度収支は改善が認められる。積立資産に関しては、事業継続に必要な運営財源が少しでも担保されるよう、将来へ向けた計画的な運用に努められたい。



令和6年度の福祉・健康の集いは、10月を『福祉・健康啓発月間』として、期間展示&販売コーナーや保健福祉事業の一般開放、特別企画などのさまざまな催しが開催されました。10月19日のイベントは小学校「笑楽祭」とコラボ開催し、恒例の福祉大会記念講演では木曽地域人権啓発ネットワーク事業との共催で、シンガーソングライターの木立早絵さんによる「さらなる一歩を踏み出そう！」と題したトーク&コンサートを企画。チャレンジする気持ちや「思いやり」と「感謝」の大切さを学び合いました。当日は小学生のステージ発表やこども祭り、チャリティー販売等も行われ、多世代がともに集い、和気あいあいとふれあう楽しい一日となりました。

## 2月15日 会食会

今年の会食会は「大家族」がテーマ。サザエさん一家に扮した寸劇や「踊り」を題材にした演芸やレクリエーションを楽しみ、地域の皆さんのつながりとともに確かめながら、盛りだくさんの料理に舌鼓しました。



参加者とスタッフで輪になって木曽踊り

# まめでやらまい!

# 季節の行事

遊休農地をたい肥し  
◇生活支援ネット事業



7月19日



7月12日

中学生も協力! 男性料理教室  
◇介護教室&ごた&中学生福祉体験



4月17日

体づくりは、欠かせません!  
◇ふれあい元気づくり教室



1月27日

◇どんぐり広場  
こころの体操教室



11月6日

100歳のばあちゃんといきいき交流  
◇いきいき&どんぐり広場交流会



12月23日

楽しく学ぼう! レクレーション  
◇ボランティア講習会

みくろのつくり共同作業  
◇いきいきサロン



3月27日

## ～令和6年度監査意見よい①～

◇法人の現況 ～連携&協働の体制づくり～  
将来へ向けた地域や福祉の人材確保が益々厳しい状況に置かれる中、行政サービスとの緊密な連携や情報共有をはじめ、地域における連携体制づくりや地域間のネットワークづくりに努め、協働による地域課題解決のための取り組みを推進されたい。

## ◇令和6年度社協会員の状況

個人会員 387名 (△30名)  
☆普及率 63% (/成人人口)  
法人会員 22社 (±0社)  
◎年会費総額 614,000円 (△39,000円)



## 令和6年度寄付者ご芳名 (受付順)

# いつもありがとうございます!

寄付金総額 197,113円

一般寄付金

団体 匿名希望 様

個人 大家 考助 様

(第35回福祉・健康の集い)

個人 匿名希望 様

チャリティバザー (9,200円)

指定寄付金

個人 森本 靖江 様

子育て支援事業費として



昨年度は、福祉・健康の集いのチャリティーマーケットを5年振りに復活。能登半島地震復興応援物産展も設けられました。

※ その他、昨年も野菜や果物などの食材や、手縫いのお弁当の手提げ袋や台ふき、使用しなくなった介護用品や日用品など、心のもったたくさんの頂きものがありました。大切に使用させていただいています。(計78件)